



■厚真人インタビュー（11月9日、16日）

昨年度に続き、「よりみち学舎」主催の「厚真人インタビュープログラム」が開始されました。町職員や地域おこし協力隊へのインタビューを通じて、勤労観や就労観を学びとることにより、職業体験やインターンシップをより深い学びにつなげます。昨年度の「厚真人カード」に加え、新たにインタビューを介して見つけたことや考えたことを積み重ねていきます。

■1年生がセーフティコールあつまに参加（11月13日）

1年生が参加して、厚真市街地で町民と一緒に「冬の交通安全運動」の啓発活動を行いました。道路沿いに並び、大きな旗を掲げたり手旗を振って、ドライバーに安全運転をアピールしました。特に、冬の時期は気温の変化で路面状況が悪化します。歩行や車の運転には十分に気をつけましょう。

■2年生の進路ガイダンス（11月16日）

胆振教育局進路相談員の西智子さんを講師に招き、2年生対象の進路ガイダンスを開きました。進路活動の重要性、これからの就職・進学活動など、今後の進路選択をどのように考えるのかを知り、生徒自身に自ら考え行動してもらうことで、来年度の進路決定につなげたいと考えています。

■創立70周年記念式典（11月17日）

本校は昭和28（1953）年に開校しました。この間、時代の流れに応じ、夜間定時制、昼間定時制、全日制普通科2間口から1間口へと、いくども形を変えています。設立当初の本校は、農家の重要な働き手だったため進学をあきらめていた生徒の「希望」でした。これから「よき市民 よき社会人」を学校教育目標に掲げる厚真高校にご期待ください。



創立70周年記念式典



初めての経験

よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。

先日、2年生の厚高生が嬉しそうに話してくれました。「町内のラーメン店で、たくあんを食べたんですよ」。その店に行ったことも、たくあんを食べたことも初めての経験だそうです。ささい

な事かもしれませんが、彼にとっては大きな出来事となりました。

このラーメン店は、町民になじみがありますが、厚高生にとってあまり訪れることのない場所でもあります。お店を知っていても、高校から離れていて、「行ってみないけど、行きにくい場所」なのです。彼が気になるお店のデビューを果たしたのは、厚高に通い始めて1年半余り。美味しさもさることながら、店に行けた喜びが冒頭の言葉となりました。

彼はこれまで、生徒会役員や町のイベントへの参加、高校生震災ガイドなど、多くのことに挑戦してきました。チャレンジ精神にあふれています。反面、実は「食わず嫌い」で、周りが美味しそうに食べていても初めて口にする物には、全く手を付けないことが多々あります。ラーメン店で出されたたくあんもその一つ。意を決して食べたところ、「もう食べられるようになりました！」と誇らしげに語りました。

よりみち学舎を通じて、厚高生の前向きな姿勢が増えてきました。経験の場の提供が厚高生の意識に変化をもたらしています。豊かな経験は人を磨きます。生徒に向き合い、今後もしっかりサポートします。

教育魅力化支援員 山中 卓也

経験の場を提供している
よりみち学舎